

14 海の豊かさを
守ろう



海を守り、未来をつくる

日本初
開催

BLUE FLAG in 鎌倉 Japan サミット 2019

国内4都市のブルーフラッグ認証海岸の関係者が一堂に会する日本初のシンポジウム

2019年12月1日(日) 13:00~17:00
(12:30 開場)

江ノ島湘南港ヨットハウス2階ホール (定員100人)

(藤沢市江の島1-12-2 / 0466-22-2128)

シンポジウム参加費 1,000円/人



1 基調講演

「国際環境認証『ブルーフラッグ』とは何か」
伊藤正侑子氏 (NPO法人 FEE Japan 理事長)

2 先進事例発表

「ブルーフラッグ認証取得の成果と課題」
鎌倉市、高浜町、神戸市、山武市

3 パネルディスカッション

「ブルーフラッグ活動を広げるために、私たちができること」

4 交流会 (軽食&ドリンク) 希望者のみ 交流会参加費 1,000円/人

先進事例を発表する4自治体のブース展示あり



兵庫県神戸市
「須磨海水浴場」



福井県高浜町
「若狭和田海水浴場」



ブルーフラッグ認証
を取得した海岸



神奈川県鎌倉市
「由比ガ浜海水浴場」



千葉県山武市
「本須賀海水浴場」



ブルーフラッグとは、国際NGO FEE (環境教育基金)による世界で最も歴史ある国際環境認証の一つ。①水質、②環境教育・情報、③環境マネジメント、④安全性・サービスの4分野、33項目の認証基準をクリアしたビーチ等に与えられる。1985年にフランスで誕生、現在世界45ヶ国、4,560ヶ所が取得。日本国内の認証海岸は4ヶ所のみ。ブルーフラッグを取得する意義は、ビーチ、マリナ等の周辺地域の持続可能な発展を促進することにある。

【主催】 NPO法人湘南ビジョン研究所、文教大学湘南総合研究所、NPO法人FEE Japan
【後援】 鎌倉市、高浜町、神戸市、山武市、神奈川県、神奈川新聞、tvk(テレビ神奈川)、FMヨコハマ
【協賛】 由比ガ浜茶亭組合、ブルーイノベーション株式会社

海を守り、未来をつくる

BLUE FLAG Japan サミット 2019 in 鎌倉

ブルーフラッグは、1985年にフランスで誕生し、現在世界45ヶ国、4,560ヶ所ビーチやマリナー、観光事業者が取得しています。日本国内においては、2016年4月に鎌倉市「由比ガ浜海水浴場」、高浜町「若狭和田海水浴場」、2019年4月に神戸市「須磨海水浴場」、山武市「本須賀海水浴場」が認証され、国内4か所のブルーフラッグ認証海水浴場が誕生しました。しかし、各自治体が抱える海岸の課題は多様で、各地域では試行錯誤しながら毎年更新しています。

そこで、この度、国内4都市のブルーフラッグ認証海岸の関係者が一堂に会して認証取得の意義を再確認し、ブルーフラッグビーチの現状と課題を共有するとともに、国内におけるブルーフラッグ認証地域の普及による海辺からのSDGsの実現に貢献することを目的に「BLUE FLAG Japanサミット2019 in 鎌倉」を開催します。

プログラム

第1部 13:00~

● 開会/基調講演 「国際環境認証『ブルーフラッグ』とは何か」

伊藤正侑子氏〔NPO法人 FEE Japan 理事長〕



第2部 13:45~

● 先進事例発表 「ブルーフラッグ認証取得の成果と課題」



事例① 由比ガ浜海水浴場

鎌倉市市民生活部観光課
角田裕亮氏



事例② 若狭和田海水浴場

一般社団法人若狭高浜観光協会
高田慎平氏



事例③ 須磨海水浴場

神戸市港湾局海岸防災課
課長 塩見勝宏氏



事例④ 本須賀海水浴場

山武市経済環境部わかまち活性課
鈴木昌子氏・堺裕司氏

● パネルディスカッション

参加者とのクロスセッションあり

「海でつながる人・まち・未来~ブルーフラッグ活動を広げるために、 私たちにできること~」



コーディネーター 海津ゆりえ氏〔文教大学国際学部教授〕

鎌倉在住。農学博士。有限会社資源デザイン研究所代表取締役社長、文教大学国際学部准教授等を経て現職。NPO法人日本エコツーリズム協会理事、環境省エコツーリズム推進会議委員、鎌倉市観光協会理事等を歴任。湘南ビジョン研究所理事。

パネリスト



伊藤正侑子氏〔FEE Japan 理事長〕

スカンジナビア政府観光局アジア太平洋地区総括本部代表、NPO法人グリーンサンタ基金 代表理事を経てFEE Japan理事長に就任。国際NGO・FEE本部より承認を受け日本において、BLUE FLAG、Eco-Schools、LEAF、Green Key等の環境教育プログラムを運営・実施。



川廷昌弘氏〔博報堂CSR推進担当部長〕

茅ヶ崎在住。環境省SDGsステークホルダーズ・ミーティング構成員。グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンSDGsタスクフォース・リーダー。神奈川県顧問（SDGs推進担当）、鎌倉市SDGs推進アドバイザー。SDGs第一人者。写真家。サーファー。



筒井誠二氏〔環境省水環境課長〕

環境省、厚生労働省、国土交通省などで、水行政や廃棄物行政など関わる。2011年インドネシア環境省派遣JICA専門家、2014年環境省除染渉外広報室長、2015年同適正処理・不法投棄対策室長、2017年アジア太平洋地球変動研究ネットワーク事務局長等を経て2019年8月より現職。



内田一音氏〔障がい者サーファー〕

鎌倉在住。生まれつき左股関節変形症という障がいを持つ。ライフセーバー、水泳教室コーチ。2010年~2019年JPSAロングボード公認プロ。2017年世界アダプティブ・サーフィン選手権優勝。2018年に2連覇達成。「アダプティブ・ビーチ」の実現に向け活動中。



佐藤孝子氏〔海洋研究開発機構〕

理学博士。学習研究社植物工学研究所の研究員を経て、国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）に所属。専門は圧力生理学、微生物学。NPO法人チームくじら号のキャプテン「さとちゃん先生」として、国内外で150回以上「絵本の読み聞かせライブ」を開催。



片山清宏氏〔湘南ビジョン研究所理事長〕

藤沢生まれ。1999年厚木市役所、イギリス・スウェーデン海外研修派遣、神奈川県庁を経て、松下政経塾(31期)入塾。2011年NPO法人湘南ビジョン研究所を設立(理事長)し海の問題に取り組む。慶應義塾大学SFC研究所上席所員。全日本学生サーフィン選手権4位。

第3部 16:00~

● 交流会（軽食&ドリンク） 会場：江ノ島湘南港ヨットハウス2階ホール 交流会参加費：1,000円/人

講師やパネリスト、4都市の関係者、一般参加者で懇親を深めます。どなたでも参加可。

第4部 17:30~

お申し込み
お問い合わせ

申込方法：湘南ビジョン研究所のメールに参加者のお名前とご連絡先をお送りください。FB、HPからも申し込みできます。

NPO法人 湘南ビジョン研究所

FB

<https://www.facebook.com/shonanvision/>

HP

<http://shonan-vision.org/>

mail

info@shonan-vision.org

tel

090-9017-2459